

THEO インカム・ファンド (世界の債券中心)

運用報告書 (全体版)

第6期 (決算日 2023年1月31日)

受益者のみなさまへ

平素は格別のご愛顧を賜り、厚くお礼申し上げます。
さて、「THEO インカム・ファンド (世界の債券中心)」は、2023年1月31日に第6期の決算を行いました。
ここに作成対象期間の運用経過等についてご報告申し上げます。
今後とも一層のお引き立てを賜りますようお願い申し上げます。

当ファンドの仕組みは次の通りです。

商品分類	追加型投信/内外/資産複合	
信託期間	原則として、無期限です。(設定日: 2017年3月1日)	
運用方針	「THEO インカム・ファンド (世界の債券中心)」は、マザーファンド受益証券へ投資を行います。以下はマザーファンドである「THEO インカム・マザーファンド (世界の債券中心)」の運用方針です。 ①主として世界の上場投資信託証券 (ETF) に投資することにより、リスクの低減を図りつつ、世界中の金利を享受することを目指します。 ②組入外貨建資産については、原則として対円での為替ヘッジを行いません。 ③資金動向、市況動向、残存信託期間等によっては、上記のような運用ができない場合もあります。	
主要運用対象	ベビーファンド	THEO インカム・マザーファンド (世界の債券中心) 受益証券を主要な投資対象とします。
	マザーファンド	世界の株式市場に上場されている投資信託証券 (ETF) を主要な投資対象とします。
組入制限	ベビーファンド	①上場投資信託証券 (ETF) への実質投資割合には制限を設けません。 ②外貨建資産への実質投資割合には制限を設けません。
	マザーファンド	①投資信託証券 (ETF) への実質投資割合には制限を設けません。 ②外貨建資産への投資割合には制限を設けません。
分配方針	毎年1月31日 (休業日の場合は翌営業日) に決算を行い、収益分配方針に基づき収益分配を行います。ただし、必ず分配を行うものではありません。	



東京都千代田区紀尾井町1番3号

<照会先>

電話番号: 03-6629-7090

(受付時間: 委託会社の営業日の9:30~17:00)

ホームページ: <https://www.money-design.com/>

【運用報告書の表記について】

・原則として、各表の数量、金額の単位未満は切捨て、比率は四捨五入で表記しておりますので、表中の個々の数字の合計が合計欄の値とは一致しないことがあります。ただし、単位未満の数値については小数を表記する場合があります。

○最近5期の運用実績

決 算 期	基 準 (分配落)	価 額			投 資 信 託 組 入 比 率	純 資 産 総 額
		税 分 込 配 金	期 騰 落	中 率		
	円	円		%	%	百万円
2期(2019年1月31日)	9,931	0		1.6	100.0	79
3期(2020年1月31日)	10,922	0		10.0	96.2	177
4期(2021年2月1日)	10,945	0		0.2	100.0	295
5期(2022年1月31日)	11,663	0		6.6	99.7	424
6期(2023年1月31日)	11,746	0		0.7	99.4	537

(注) 当ファンドは親投資信託を組み入れますので、「投資信託証券組入比率」は実質比率を記載しております。

(注) 当ファンドの運用方針に対して適切に比較できる指数がないため、ベンチマークならびに参考指数は表示しておりません。

○当期中の基準価額と市況等の推移

年 月 日	基 準	価 額		投 資 信 託 組 入 比 率
		騰 落	率	
(期 首) 2022年1月31日	円		%	%
	11,663		—	99.7
2月末	11,470		△1.7	99.7
3月末	11,880		1.9	99.6
4月末	11,998		2.9	99.5
5月末	11,946		2.4	99.8
6月末	12,269		5.2	99.7
7月末	12,461		6.8	99.5
8月末	12,535		7.5	99.6
9月末	12,505		7.2	99.7
10月末	12,773		9.5	99.6
11月末	12,197		4.6	99.5
12月末	11,696		0.3	99.0
(期 末) 2023年1月31日	11,746		0.7	99.4

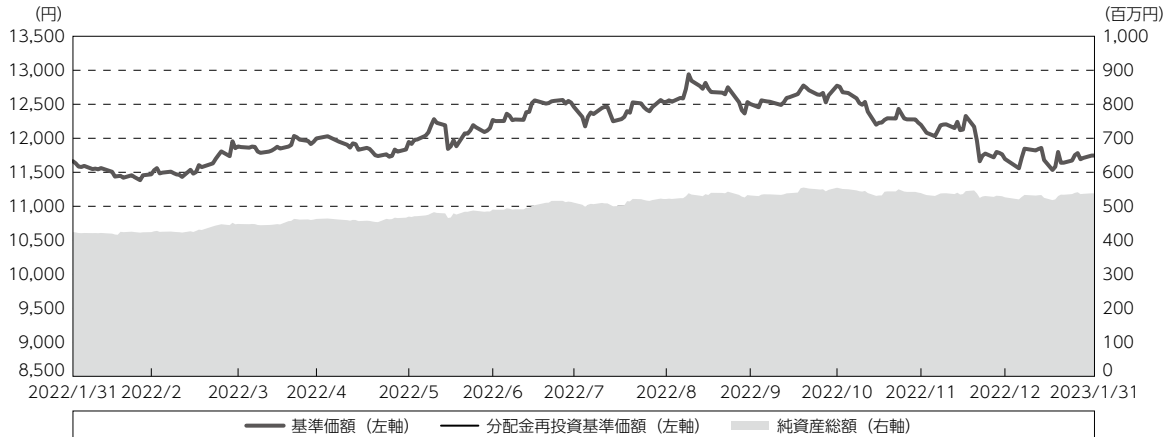
(注) 騰落率は期首比です。

(注) 当ファンドは親投資信託を組み入れますので、「投資信託証券組入比率」は実質比率を記載しております。

○運用経過

(2022年2月1日～2023年1月31日)

期中の基準価額等の推移



期首：11,663円

期末：11,746円(既払分配金(税込み)：0円)

騰落率：0.7%(分配金再投資ベース)

(注) 分配金再投資基準価額は、分配金(税込み)を分配時に再投資したものとみなして計算したもので、ファンド運用の実質的なパフォーマンスを示すものです。

(注) 分配金を再投資するかどうかについてはお客様がご利用のコースにより異なります。また、ファンドの購入価額により課税条件も異なります。したがって、お客様の損益の状況を示すものではありません。

(注) 分配金再投資基準価額は、期首(2022年1月31日)の値が基準価額と同一となるように指数化しております。

(注) 上記騰落率は、小数点以下第2位を四捨五入して表示しております。

(注) 当ファンドの運用方針に対して適切に比較できる指数がないため、ベンチマークならびに参考指数は表示していません。

○基準価額の主な変動要因

当ファンドの基準価額は、+0.7%となりました。

当ファンドは、「THEO インカム・マザーファンド(世界の債券中心)」受益証券を組み入れることにより実質的な運用を当該マザーファンドにおいて行っております。

当期においては、欧米を中心としたインフレ加速と各国中央銀行によるインフレ抑制のための金利引き上げにより、欧米の国債価格は下落傾向となりました。また、ロシアによるウクライナへの軍事侵攻により市場環境はリスク回避的となり、ハイ・イールド社債なども軟調な動きとなりました。終盤では、経済指標動向や景気後退懸念、当局者らの発言などを複合的に織り込みながら国債価格は変動を続けましたが、結果として通期では、米国国債、グローバル国債、ハイ・イールド社債などはすべてマイナス寄与となりました。当ファンドは、為替ヘッジを行っていないことから、為替相場の変動が基準価額に反映されます。当期は、為替相場が円安ドル高となったため、当ファンドの基準価額にプラスに寄与しました。

投資環境

世界の債券市場の指数であるブルームバーグ・グローバル総合指数（米ドルベース）は、-11.8%となりました。一方、米ドル円レートは+13.0%の米ドル高となりました。

当期においては、前半で欧米を中心としたインフレ加速と各国中央銀行によるインフレ抑制のための金利引き上げにより、欧米の国債価格は下落傾向となりました。また、ロシアによるウクライナへの軍事侵攻が長期化していることで市場はリスク回避的環境となり、社債等の価格下落の一因となりました。その後も欧米において金利の引き上げが繰り返し実施されたことにより景気後退懸念が強まった結果、中長期金利は一時的に低下しましたが、当局者らのインフレ抑制への強固な姿勢から国債価格は下落を続けました。足元では、経済指標や景気減速懸念、当局者らの発言などにより金利動向は左右される状況ではあるものの金利の上昇傾向は一旦落ち着いた様子で、リスク選好的な市場環境になりつつあります。

当ファンドのポートフォリオ

当ファンドは、「THEO インカム・マザーファンド（世界の債券中心）」受益証券への投資を通じ、主として世界のETFに投資することで、実質的に世界の債券等へ分散投資を行います。

当ファンドの目的は、世界各国の債券等の金利水準に着目し、安定した収益を確保することで、投資信託財産を着実に成長させることです。これに向けて、定期的に評価基準に基づいてETFを選定し、検証を重ねたアルゴリズムにより配分を変更します。当期もそのように運用を行いました。

当ファンドのベンチマークとの差異

当ファンドは、運用方針に対して適切に比較できる指数がないため、ベンチマークならびに参考指数は設定しておりません。

分配金

当期の分配金は、長期的な投資信託財産の成長を追求する観点から無分配とさせていただきます。また、収益分配に充てなかった利益につきましては信託財産中に留保し、運用の基本方針に基づいて運用いたします。

○分配原資の内訳

（単位：円、1万口当たり・税込み）

項 目	第6期
	2022年2月1日～ 2023年1月31日
当期分配金 (対基準価額比率)	— —%
当期の収益	—
当期の収益以外	—
翌期繰越分配対象額	1,771

(注) 対基準価額比率は当期分配金（税込み）の期末基準価額（分配金込み）に対する比率であり、ファンドの収益率とは異なります。

(注) 当期の収益、当期の収益以外は小数点以下切捨てで算出しているため合計が当期分配金と一致しない場合があります。

○今後の運用方針

引き続き、「THEO インカム・マザーファンド（世界の債券中心）」受益証券への投資を通じ、主として世界のETFに投資することで、実質的に世界中の金利を享受することを目指します。定期的に評価基準に基づいてETFを選定し、組入比率を調整して参ります。

○ 1 万口当たりの費用明細

(2022年 2 月 1 日～2023年 1 月31日)

項 目	当 期		項 目 の 概 要
	金 額	比 率	
(a) 信 託 報 酬	円 53	% 0.440	(a) 信託報酬＝期中の平均基準価額×信託報酬率
（ 投 信 会 社 ）	(43)	(0.358)	委託した資金の運用の対価
（ 販 売 会 社 ）	(7)	(0.055)	交付運用報告書等各種書類の送付、口屋内でのファンドの管理、購入後の情報提供等の対価
（ 受 託 会 社 ）	(3)	(0.027)	運用財産の管理、投信会社からの指図の実行の対価
(b) 売 買 委 託 手 数 料	4	0.032	(b) 売買委託手数料＝期中の売買委託手数料÷期中の平均受益権口数
（ 投 資 信 託 証 券 ）	(4)	(0.032)	売買委託手数料は、有価証券等の売買の際、売買仲介人に支払う手数料
(c) 有 価 証 券 取 引 税	0	0.001	(c) 有価証券取引税＝期中の有価証券取引税÷期中の平均受益権口数
（ 投 資 信 託 証 券 ）	(0)	(0.001)	有価証券取引税は、有価証券の取引の都度発生する取引に関する税金
(d) そ の 他 費 用	14	0.112	(d) その他費用＝期中のその他費用÷期中の平均受益権口数
（ 監 査 費 用 ）	(4)	(0.030)	監査費用は、監査法人等に支払うファンドの監査に係る費用
（ そ の 他 ）	(10)	(0.082)	その他は、信託事務の処理等に要するその他の諸費用
合 計	71	0.585	
期中の平均基準価額は、12,116円です。			

(注) 期中の費用（消費税等のかかるものは消費税等を含む）は、追加・解約により受益権口数に変動があるため、簡便法により算出した結果です。

(注) 各金額は項目ごとに円未満は四捨五入してあります。

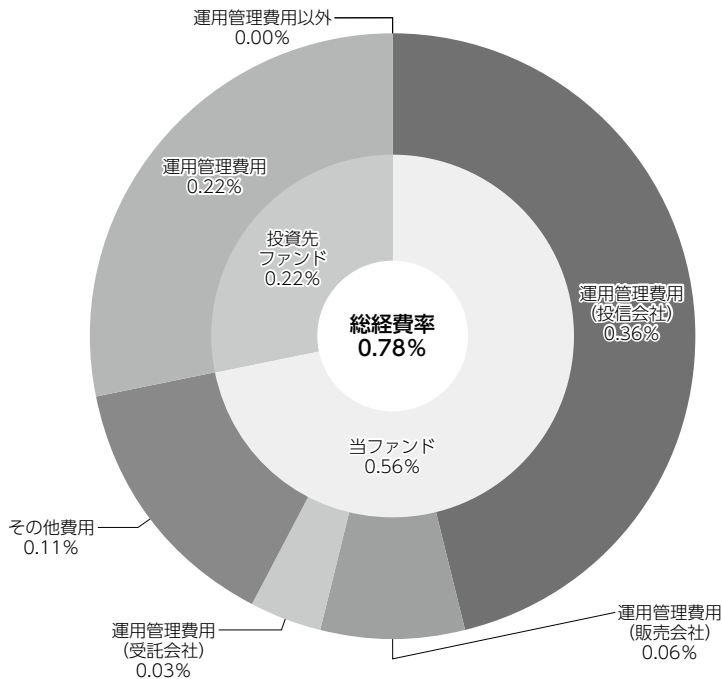
(注) 売買委託手数料、有価証券取引税およびその他費用は、このファンドが組み入れている親投資信託が支払った金額のうち、当ファンドに対応するものを含みます。

(注) 各比率は1万口当たりのそれぞれの費用金額（円未満の端数を含む）を期中の平均基準価額で除して100を乗じたもので、項目ごとに小数第3位未満は四捨五入してあります。

(参考情報)

○総経費率

期中の運用・管理にかかった費用の総額（原則として、募集手数料、売買委託手数料および有価証券取引税を除く。）を期中の平均受益権口数に期中の平均基準価額（1口当たり）を乗じた数で除した総経費率（年率）は0.78%です。



(単位：%)

総経費率(①+②+③)	0.78
①当ファンドの費用の比率	0.56
②投資先ファンドの運用管理費用の比率	0.22
③投資先ファンドの運用管理費用以外の比率	0.00

(注) 当ファンドの費用は1万口当たりの費用明細において用いた簡便法により算出したものです。

(注) 各費用は、原則として、募集手数料、売買委託手数料および有価証券取引税を含みません。

(注) 各比率は、年率換算した値です。

(注) 投資先ファンドとは、当ファンドの親投資信託が組み入れている投資信託証券です。

(注) 当ファンドの費用は、親投資信託が支払った費用を含み、投資先ファンドが支払った費用を含みません。

(注) 当ファンドの費用と投資先ファンドの費用は、計上された期間が異なる場合があります。

(注) 上記の前提条件で算出したものです。このため、これらの値はあくまでも参考であり、実際に発生した費用の比率とは異なります。

○売買及び取引の状況

(2022年2月1日～2023年1月31日)

親投資信託受益証券の設定、解約状況

銘柄	設 定		解 約	
	口 数	金 額	口 数	金 額
THEO インカム・マザーファンド（世界の債券中心）	千口 111,251	千円 138,789	千口 22,135	千円 27,529

○利害関係人との取引状況等

(2022年2月1日～2023年1月31日)

該当事項はございません。

利害関係人とは、投資信託及び投資法人に関する法律第11条第1項に規定される利害関係人です。

○自社による当ファンドの設定・解約状況

(2022年2月1日～2023年1月31日)

該当事項はございません。

○組入資産の明細

(2023年1月31日現在)

親投資信託残高

銘柄	期首(前期末)	当 期 末	
	口 数	口 数	評 価 額
THEO インカム・マザーファンド（世界の債券中心）	千口 354,203	千口 443,319	千円 537,747

親投資信託における組入資産の明細につきましては、後述の親投資信託の「運用報告書」をご参照ください。

○投資信託財産の構成

(2023年1月31日現在)

項 目	当 期 末	
	評 価 額	比 率
THEO インカム・マザーファンド（世界の債券中心）	千円 537,747	% 99.6
コール・ローン等、その他	1,961	0.4
投資信託財産総額	539,708	100.0

(注) 比率は、投資信託財産総額に対する割合です。

(注) THEO インカム・マザーファンド（世界の債券中心）において、当期末における外貨建純資産（1,633,258千円）の投資信託財産総額（1,647,045千円）に対する比率は99.2%です。

(注) 外貨建資産は、期末の時価をわが国の対顧客電信売買相場の仲値により邦貨換算したものです。1米ドル=130.47円。

○資産、負債、元本及び基準価額の状況 (2023年1月31日現在)

項 目	当 期 末
	円
(A) 資産	539,708,856
コール・ローン等	1,601,200
THEO インカム・マザーファンド （世界の債券中心）（評価額）	537,747,041
未収入金	360,615
(B) 負債	1,961,815
未払解約金	493,058
未払信託報酬	1,175,046
その他未払費用	293,711
(C) 純資産総額（A－B）	537,747,041
元本	457,793,846
次期繰越損益金	79,953,195
(D) 受益権総口数	457,793,846口
1万円当たり基準価額（C／D）	11,746円

(注) 当ファンドの期首元本額は363,752,824円、期中追加設定元本額は118,974,887円、期中一部解約元本額は24,933,865円です。

(注) 1口当たり純資産額は1.1746円です。

○損益の状況 (2022年2月1日～2023年1月31日)

項 目	当 期
	円
(A) 有価証券売買損益	1,220,920
売買益	2,794,768
売買損	△ 1,573,848
(B) 信託報酬等	△ 2,726,268
(C) 当期損益金（A＋B）	△ 1,505,348
(D) 前期繰越損益金	29,354,552
(E) 追加信託差損益金	52,103,991
（配当等相当額）	（ 41,423,064）
（売買損益相当額）	（ 10,680,927）
(F) 計（C＋D＋E）	79,953,195
(G) 収益分配金	0
次期繰越損益金（F＋G）	79,953,195
追加信託差損益金	52,103,991
（配当等相当額）	（ 41,724,133）
（売買損益相当額）	（ 10,379,858）
分配準備積立金	39,373,636
繰越損益金	△11,524,432

(注) 損益の状況の中で(A)有価証券売買損益は期末の評価換えによるものを含みます。

(注) 損益の状況の中で(B)信託報酬等には信託報酬に対する消費税等相当額を含めて表示しています。

(注) 損益の状況の中で(E)追加信託差損益金とあるのは、信託の追加設定の際、追加設定をした価額から元本を差し引いた差額分をいいます。

(注) 計算期間末における費用控除後の配当等収益（10,019,084円）、費用控除後の有価証券等損益額（0円）、信託約款に規定する収益調整金（41,724,133円）および分配準備積立金（29,354,552円）より分配対象収益は81,097,769円（1万円当たり1,771円）ですが、当期に分配した金額はありません。

○分配金のお知らせ

1万円当たり分配金（税込み）	0円
----------------	----

○お知らせ

該当事項はございません。

THEO インカム・マザーファンド （世界の債券中心）

運用報告書

第6期（決算日 2023年1月31日）
（2022年2月1日～2023年1月31日）

当ファンドの仕組みは次の通りです。

信託期間	原則として、無期限です。（設定日：2017年3月1日）
運用方針	①主として世界の投資信託証券（ETF）に投資することにより、リスクの低減を図りつつ、世界中の金利を享受することを目指します。 ②組入外貨建資産については、原則として対円での為替ヘッジを行いません。 ③資金動向、市況動向、残存信託期間等によっては、上記のような運用ができない場合もあります。
主要運用対象	世界の株式市場に上場されている投資信託証券（ETF）を主要な投資対象とします。
組入制限	①投資信託証券（ETF）への実質投資割合には制限を設けません。 ②外貨建資産への投資割合には制限を設けません。

 お金のデザイン

【運用報告書の表記について】

・原則として、各表の数量、金額の単位未満は切捨て、比率は四捨五入で表記しておりますので、表中の個々の数字の合計が合計欄の値とは一致しないことがあります。ただし、単位未満の数値については小数を表記する場合があります。

○最近5期の運用実績

決 算 期	基 準	価 額		投 資 信 託 純 資 産 額	証 組 入 比 券 率 総
		期 騰 落	中 率		
	円		%		%
2期(2019年1月31日)	10,033		2.2		100.0
3期(2020年1月31日)	11,093		10.6		96.2
4期(2021年2月1日)	11,179		0.8		100.0
5期(2022年1月31日)	11,977		7.1		99.7
6期(2023年1月31日)	12,130		1.3		99.4

(注) 当ファンドの運用方針に対して適切に比較できる指数がないため、ベンチマークならびに参考指数は表示しておりません。

○当期中の基準価額と市況等の推移

年 月 日	基 準	価 額		投 資 信 託 証 組 入 比 券 率
		騰 落	率	
(期首) 2022年1月31日	円		%	%
	11,977		—	99.7
2月末	11,784		△ 1.6	99.7
3月末	12,211		2.0	99.5
4月末	12,337		3.0	99.4
5月末	12,290		2.6	99.6
6月末	12,627		5.4	99.5
7月末	12,830		7.1	99.5
8月末	12,913		7.8	99.6
9月末	12,888		7.6	99.6
10月末	13,170		10.0	99.5
11月末	12,583		5.1	99.4
12月末	12,072		0.8	98.8
(期末) 2023年1月31日		12,130	1.3	99.4

(注) 騰落率は期首比です。

○運用経過

(2022年2月1日～2023年1月31日)

期中の基準価額等の推移

○基準価額の主な変動要因

当ファンドの基準価額は、+1.3%となりました。

当期においては、欧米を中心としたインフレ加速と各国中央銀行によるインフレ抑制のための金利引き上げにより、欧米の国債価格は下落傾向となりました。また、ロシアによるウクライナへの軍事侵攻により市場環境はリスク回避的となり、ハイ・イールド社債なども軟調な動きとなりました。終盤では、経済指標動向や景気後退懸念、当局者らの発言などを複合的に織り込みながら国債価格は変動を続けましたが、結果として通期では、米国国債、グローバル国債、ハイ・イールド社債などはすべてマイナス寄与となりました。当ファンドは、為替ヘッジを行っていないことから、為替相場の変動が基準価額に反映されます。当期は、為替相場が円安ドル高となったため、当ファンドの基準価格にプラスに寄与しました。

【基準価額の推移】

(2022年2月1日～2023年1月31日)



投資環境

世界の債券市場の指数であるブルームバーグ・グローバル総合指数（米ドルベース）は、-11.8%となりました。一方、米ドル円レートは+13.0%の米ドル高となりました。

当期においては、前半で欧米を中心としたインフレ加速と各国中央銀行によるインフレ抑制のための金利引き上げにより、欧米の国債価格は下落傾向となりました。また、ロシアによるウクライナへの軍事侵攻が長期化していることで市場はリスク回避的環境となり、社債等の価格下落の一因となりました。その後も欧米において金利の引き上げが繰り返し実施されたことにより景気後退懸念が強まった結果、中長期金利は一時的に低下しましたが、当局者らのインフレ抑制への強固な姿勢から国債は下落を続けました。足元では、経済指標や景気減速懸念、当局者らの発言などにより金利動向は左右される状況ではあるものの金利の上昇傾向は一旦落ち着いた様子で、リスク選好的な市場環境になりつつあります。

当ファンドのポートフォリオ

当ファンドは、主として世界のETFに投資することで、実質的に世界の債券等へ分散投資を行います。

当ファンドの目的は、世界各国の債券等の金利水準に着目し、安定した収益を確保することで、投資信託財産を着実に成長させることです。これに向けて、定期的に評価基準に基づいてETFを選定し、検証を重ねたアルゴリズムにより配分を変更します。当期もそのように運用を行いました。

当ファンドのベンチマークとの差異

当ファンドは、運用方針に対して適切に比較できる指数がないため、ベンチマークならびに参考指数は設定していません。

○今後の運用方針

引き続き、主として世界のETFに投資することで、実質的に世界中の金利を享受することを目指します。定期的に評価基準に基づいてETFを選定し、組み入れ比率を調整して参ります。

○1万口当たりの費用明細

(2022年2月1日～2023年1月31日)

項 目	当 期		項 目 の 概 要
	金 額	比 率	
(a) 売 買 委 託 手 数 料 (投 資 信 託 証 券)	円 4 (4)	% 0.033 (0.033)	(a) 売買委託手数料＝期中の売買委託手数料÷期中の平均受益権口数 売買委託手数料は、有価証券等の売買の際、売買仲介人に支払う手数料
(b) 有 価 証 券 取 引 税 (投 資 信 託 証 券)	0 (0)	0.001 (0.001)	(b) 有価証券取引税＝期中の有価証券取引税÷期中の平均受益権口数 有価証券取引税は、有価証券の取引の都度発生する取引に関する税金
(c) そ の 他 費 用 (そ の 他)	0 (0)	0.001 (0.001)	(c) その他費用＝期中のその他費用÷期中の平均受益権口数 その他は、信託事務の処理等に要するその他の諸費用
合 計	4	0.035	
期中の平均基準価額は、12,473円です。			

(注) 各金額は項目ごとに円未満は四捨五入してあります。

(注) 各比率は1万口当たりのそれぞれの費用金額（円未満の端数を含む）を期中の平均基準価額で除して100を乗じたもので、項目ごとに小数第3位未満は四捨五入してあります。

○売買及び取引の状況

(2022年2月1日～2023年1月31日)

投資信託証券

銘柄		買付		売付	
		口数	金額	口数	金額
外 国	アメリカ	口	千米ドル	口	千米ドル
	ISHARES IBOXX INVESTMENT GRA	17,509	1,996	549	60
	ISHARES 20+ YEAR TREASURY BO	5,340	644	18,150	1,996
	ISHARES 7-10 YEAR TREASURY B	14,381	1,481	30,134	3,057
	ISHARES INTERNATIONAL TREASU	4,530	195	23,434	968
	ISHARES IBOXX USD HIGH YIELD	79	5	—	—
	ISHARES MBS ETF	7,921	760	1,637	159
	ISHARES 1-5Y INV GRADE CORP	22,215	1,127	1,339	68
	SPDR BLACKSTONE SENIOR LOAN ETF	11,031	466	3,588	153
	SPDR BLOOMBERG SHORT TERM HIGH	17,456	433	5,103	127
	VANGUARD SHORT-TERM TREASURY	27,095	1,567	182	10
	VANGUARD INTERMEDIATE-TERM T	25,902	1,548	216	13
小計	153,459	10,227	84,332	6,615	

(注) 金額は受け渡し代金。

○利害関係人との取引状況等

(2022年2月1日～2023年1月31日)

該当事項はございません。

利害関係人とは、投資信託及び投資法人に関する法律第11条第1項に規定される利害関係人です。

○組入資産の明細

(2023年1月31日現在)

外国投資信託証券

銘柄	期首(前期末)		当 期 末		比 率
	口 数	口 数	評 価 額		
			外 貨 建 金 額	邦 貨 換 算 金 額	
(アメリカ)	口	口	千米ドル	千円	%
ISHARES IBOXX INVESTMENT GRA	—	16,960	1,866	243,581	14.8
ISHARES 20+ YEAR TREASURY BO	12,810	—	—	—	—
ISHARES 7-10 YEAR TREASURY B	15,753	—	—	—	—
ISHARES INTERNATIONAL TREASU	20,677	1,773	71	9,329	0.6
ISHARES IBOXX USD HIGH YIELD	—	79	5	780	0.0
ISHARES MBS ETF	19,388	25,672	2,453	320,071	19.5
ISHARES 1-5Y INV GRADE CORP	28,834	49,710	2,508	327,331	19.9
SPDR BLACKSTONE SENIOR LOAN ETF	22,450	29,893	1,256	163,922	10.0
SPDR BLOOMBERG SHORT TERM HIGH	38,063	50,416	1,252	163,457	9.9
VANGUARD SHORT-TERM TREASURY	—	26,913	1,565	204,219	12.4
VANGUARD INTERMEDIATE-TERM T	—	25,686	1,531	199,868	12.2
合 計	口 数	口 数	金 額	金 額	比 率
	157,975	227,102	12,512	1,632,563	
	7	9	—	<99.4%>	

(注) 邦貨換算金額は、期末の時価をわが国の対顧客電信売買相場の仲値により邦貨換算したものです。

(注) 比率は、純資産総額に対する評価額の割合です。

○投資信託財産の構成

(2023年1月31日現在)

項 目	当 期 末	
	評 価 額	比 率
投資信託受益証券	千円 1,632,563	% 99.1
コール・ローン等、その他	14,482	0.9
投資信託財産総額	1,647,045	100.0

(注) 比率は、投資信託財産総額に対する割合です。

(注) 当期末における外貨建純資産（1,633,258千円）の投資信託財産総額（1,647,045千円）に対する比率は99.2%です。

(注) 外貨建資産は、期末の時価をわが国の対顧客電信売買相場の仲値により邦貨換算したものです。1米ドル=130.47円。

○資産、負債、元本及び基準価額の状況（2023年1月31日現在）

項 目	当 期 末	円
(A) 資産	1,647,045,645	
コール・ローン等	14,126,609	
投資信託受益証券(評価額)	1,632,563,135	
未収入金	355,901	
(B) 負債	4,220,721	
未払解約金	4,220,721	
(C) 純資産総額(A－B)	1,642,824,924	
元本	1,354,328,482	
次期繰越損益金	288,496,442	
(D) 受益権総口数	1,354,328,482口	
1万口当たり基準価額(C/D)	12,130円	

(注) 当ファンドの期首元本額は989,841,439円、期中追加設定元本額は522,309,558円、期中一部解約元本額は157,822,515円です。

(注) 2023年1月31日現在の元本の内訳は以下の通りです。

- ・THEO インカム・A I ファンド（世界の債券中心） 903,756,542円
- ・THEO インカム・ファンド（世界の債券中心） 443,319,902円
- ・THEOベスト・バランス・ファンド 7,252,038円

(注) 1口当たり純資産額は1.2130円です。

○損益の状況（2022年2月1日～2023年1月31日）

項 目	当 期	円
(A) 配当等収益	35,594,097	
受取配当金	35,583,881	
受取利息	10,216	
(B) 有価証券売買損益	△ 34,958,397	
売買益	141,521,520	
売買損	△176,479,917	
(C) 保管費用等	△ 12,324	
(D) 当期損益金(A+B+C)	623,376	
(E) 前期繰越損益金	195,686,231	
(F) 追加信託差損益金	131,051,028	
(G) 解約差損益金	△ 38,864,193	
(H) 計(D+E+F+G)	288,496,442	
次期繰越損益金(H)	288,496,442	

(注) 損益の状況の中で(B)有価証券売買損益は期末の評価換えによるものを含みます。

(注) 損益の状況の中で(F)追加信託差損益金とあるのは、信託の追加設定の際、追加設定をした価額から元本を差し引いた差額分をいいます。

(注) 損益の状況の中で(G)解約差損益金とあるのは、中途解約の際、元本から解約価額を差し引いた差額分をいいます。

○お知らせ

該当事項はございません。